

NPOが推進！高齢者の生きがいを旨とする「よりあいクラブ旭」

N P O ひ ょ う ご 農 業 ク ラ ブ

機関名	特定非営利活動法人 ひょうご農業クラブ (本町商店街振興組合)		
所在地	兵庫県相生市若狭野町寺田176番地		
電話番号	0791-28-0538		
地域概要	(1)管内人口 3万4千人	(2)管内商店街数 23商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 44商店	
	(3)空店舗率 30%	(4)大型店空き店舗数 0店	
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成14年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業

商店街の空き店舗に高齢者を主たる対象としたコミュニティ施設「よりあいクラブ旭」を設置し、いきがいミニ・デ
イサービス、給食サービス、配食事業等を行うもの

総事業費

12,450千円

【事業実施内容】

1. 背景

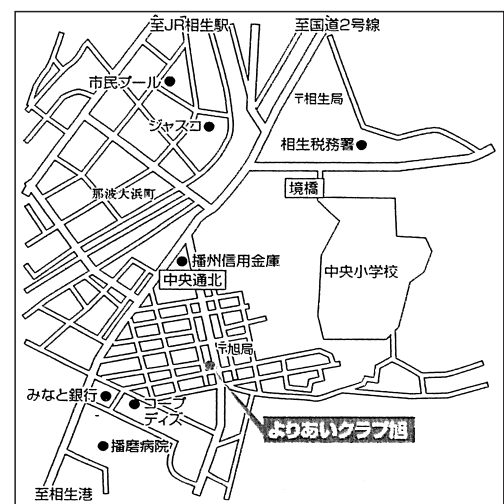
(1) 相生市の概要

相生市は兵庫県の南西部に位置し、姫路市へはJR山陽本線・山陽新幹線で東へ21km、神戸市へは76kmの距離にある。南は風光明媚な瀬戸内海国立公園の一部を含み、北は播磨科学公園都市、北東は龍野市、西は赤穂市に接し、海岸部から平地、山間部へと伸びる南北に長い市域である。古くから造船業を中心とした工業都市として発展してきたが、現在、西播磨テクノポリスの副母都市として、産業・経済の基盤づくりが進められている。

また、当市は兵庫県の市の中で最も高齢化率が高く、高齢化社会への対応が急務となっている。

(2) 本町商店街振興組合の概要

JR相生駅から南へ徒歩10分のところにある会員数44店舗の近隣型商店街である。かつては相生市の中心的な商店街として賑わっていたが、モータリゼーションの進展、郊外への大



「よりあいクラブ旭」の位置

型店の出店などにより活力が低下し、空き店舗も増加している。このような現状を打破し、商店街に活気を取り戻そうと、毎年春・秋には「ほんまち祭り」、夏には「一六夜店」など季節ごとのイベントへの取り組みが行なわれている。



相生市 本町商店街



ひょうご農業クラブの活動の様子

(3) NPOひょうご農業クラブの概要

NPOひょうご農業クラブは下記（*）のような考えに賛同するメンバー十数名が集まり、2001年1月に法人化した特定非営利活動法人である。相生市・赤穂市の畑で有機肥料を使い、化学肥料と農薬を一切使わない野菜を作っているほか、平成12年12月より六甲アイランド（神戸市東灘区）で「コミューニングレストランよりあい向洋」を運営している。なお、理事長の増田氏はコープ神戸の副組合長としての経験があり、農業、及び農産物の流通には相応の知識とノウハウを有している。

* NPO法人ひょうご農業クラブHPより抜粋

健康で長生きしたいということは誰しも共通の願いです。私たちの健康を支えている源（元）は、なんとといっても、毎日自分たちが食べている食べ物そのものです。食生活の安全をめぐる問題はたくさんありますが、特に毎日必ず食べる農作物は、化学肥料、農薬の投入されたものが多く、これが私たちの子孫にとってよいはずがありません。そして、将来にわたって私たちの食を支える農村では高齢化、人口減が著しく、村落共同体の良き伝統文化や人間関係も根こそぎ衰弱してきており、さらに生産地での自然環境破壊や生態系への影響も多大なものになりつつあります。日本の農業、自然、農村文化が生産者のみの問題ではなく、消費者も自らかかわりをもって国民全体のこととして、それを守っていくという自覚がなくてはならない状況が逼迫しています。このような自覚をもって、次のような取り組みをはじめました。

- (1) 大自然が培った食物を食べ、健康で長生きすることを目指します。
- (2) お互いに交流しあい、親睦を深め、つくる喜びと食べる喜びを結合して、農村のくらしと都市生活の掛け橋をつくります。
- (3) 自然・農業・地域の文化を学び、地域の発展に貢献していきます。
- (4) 生態系、環境に配慮した有機・無農薬を原則とした生還活動と消費を進めます。

NPOひょうご農業クラブ

2. 事業内容

兵庫県相生市本町商店街の空き店舗を活用し、高齢者向けコミュニティ施設「よりあいクラブ旭」を平成15年3月24日にオープンした。福祉の増進を図るとともに、高齢者を中心とした地域住民との交流を深め、商店街に賑わいを創出することが目的となっている。レストラン(40m²:12席)に野菜販売施設(40m²)が併設されており、営業時間は午前10時から午後5時まで(会食は午前11時から)、定休日は日曜日である。

(1) 「よりあいクラブ旭」オープンまでの経緯

NPOひょうご農業クラブの理事長が相生市の出身である縁で、平成13年7月より、本町商店街で地元産の野菜を中心とした朝市を開催することになった。この朝市は毎週日曜日に開催され、恒例のイベントとして地元に着定していった。NPOでは野菜市の常設化とレストランのオープンを開始した当初から視野に入れており、平成14年8月頃、本町商店街とNPOとの定期的な会合を持つようになった。同NPOにはすでに六甲アイランドでレストラン経営を成功させている実績があったことでスムーズに話が進み、11月には事業計画が完成した。レストランスタッフやボランティアなど協力者の呼びかけについては、主としてNPO理事長の増田氏の人脈を通じて行った。

(2) 運営体制

1) 組織

1日5名の勤務体制で運営している。全スタッフ20名のうち、4名が有給(時給750円~800円)であり、残り16名は有償ボランティア(時給に換算すると200円程度)や無償ボランティアでの協力である。このような働き方でもオープン以来、辞めた人がいない。また、スタッフのほとんどが60歳以上であり、9割が女性である。調理は3、4人で担当し、メニューの責任者は輪番制をとっている。

NPO法人ひょうご農業クラブの役割はオープン時の店舗改装など設備面の整備、仕入れなどの側面サポートであり、メニュー決定、サービス・配送、計数管理など日常の運営は地元のスタッフが主体的に行っている。同NPOでは平成15年度、神戸市と明石市の間に位置する名舞団地に、平成16年春には相生市内に、新たに2店舗の事業所をオープン予定である。これらの新しい事業所においても、「必要な事業は地域によって異なっており、我々は機会と場を提供するのみでよい」との認識であり、運営は各地域の人々に任せる考えである。

2) 仕入れ等

朝市での野菜販売や六甲アイランドでのレストラン経営を通じて培った兵庫県内一円の農家とのネットワークを活用するとともに、地域の人々が趣味で栽培している市場を通らない有機無農薬の野菜を仕入れている。肉や魚も含め、業務用の材料は一切使用しておらず、完全手づくりにこだわったメニューを提供している。

3) 資金・収支状況等

開業資金の自己負担分については、半分を相生市からの補助で賄った。仕入れ価格は生産者の協力を得て、市価より3、4割安い価格で仕入れることができおり、定食580円、給食550円という価格設定を実現している。人件費を除く経費は月々15万円強、野菜の物販も含めた月商目標は150万円である。ボランティアスタッフの存在により、低コストでの運営が可能となっており、現在、採算ラインまでもう一息の状況にある。

(3) 各事業の概要と実績

1) 生きがいミニ・デイサービス

高齢者を中心とした地域住民に、「生きがい」を提供すべく、ミニ・デイサービス等生活支援を行った。サービス利用登録者は28人。一緒に昼食をとり、看護師による健康チェック（血圧測定など）や健康相談などを行ったほか、これからの活動内容に関する要望を聞き、話し合いを行った。参加者からは「気楽でアットホームな雰囲気が良い」「食事が手作りでおいしい」と好評であるが、今後どのような形態での運営を行えばよいか、試行錯誤を重ねている最中である。

2) 給食配達

3月24日の営業開始日より弁当の配達を開始し、1日平均40食の注文がある。利用料金は1食550円で、利用登録を行えば相生市から1食あたり250円の補助を受けることができる。配達を行うボランティアは安否確認、会話を心がける等、配達時のコミュニケーションに努めている。最近は高齢者の利用だけでなく、事業所での利用、催事のお弁当としての利用も増加している。

3) 食品加工

生きがいミニ・デイサービス会員の利用者のアイデアを活かして、高齢者向け惣菜を開発し、提供している。これまでに酢の物、コロッケ、漬物（浅漬け）などの惣菜を少量パックにしたが、高齢者に好評であった。惣菜については、今後も利用が広がるものと思われる。

4) レストラン内での会食

1日平均20食とほぼ当初の計画通りの利用状況であり、利用者からは「安い」「おいしい」「安心できる」と評価は高い。メニューは日替わりで、メインが肉か魚の1日2品のメニュー構成となっている。料金は1食580円。この事業がすべての事業の基本となるので、今後も着実に伸張するよう努めてきたい考えである。

	料金1回	備考
生きがいミニ・デイサービス	500円	利用登録が必要
給食配達	550円（※）	利用登録が必要
会食	580円	誰でも利用可能

※相生市の補助（250円）が受けられる



店舗外観



レストランの内部

【効 果】

- (1) 商店街への来店者が若干ではあるが増加した。人の流れが変わり、従来来ていなかった人が商店街に来ている。
- (2) マスコミの記事になることが増え、商店街の知名度が上がった。
- (3) 商店街のイメージが向上し、市民、行政の商店街への評価が変わってきた。
- (4) NPOの活動に広がりが出た。農業生産から始まって、都市と農村を結びつけることにつながり、さらにコミュニティづくりというミッションへと広がっていている。芋のつるではなく、苺のつるのように放射状に活動が広がっていているイメージである。
- (5) 地域の高齢者の生きがいづくりに寄与することができた。お客だけでなく、スタッフにも「よりあいクラブ旭」ができたことで元気づけられた、という人が多い。



レストランの隣では新鮮な野菜の販売も

全体として、事業の特質が派手さのない地道なものだけに、効果は遅効性をまぬがれない。ただし、地域における本事業の評価は高く、さらなる展開への期待が地域に広く浸透しかけており、今後は時間の経過とともに効果が高まっていくものと考えられる。商店街、関係諸団体、行政等との協力関係は良好で、事業運営は順調に進んでいる。また、相生市内外に第2、第3の事業所ができる可能性が出てきている。

【課題・反省点】

- (1) 4つの事業の中で前例がなく、最も取り組みが難しいものは生きがいミニ・デイサービスである。現在、カルチャースクール的なことを行うかどうかも含めて内容の改善を検討中であり、創造的な事業となることを覚悟して取り組みたい。
- (2) 事業の経営収支を早く軌道にのせること。経営を採算ベースに乗せることができれば、ボランティアで働いているスタッフに、少しでも報酬を支払いたいと考えている。
- (3) 高齢者のコミュニティづくりが地域に力をつけ活力を生み出し、結果的に商店街の再生

3月24日
生きがいコミュニティセンター
よりあいクラブ旭
本町商店街に誕生!!

よりあいクラブ旭は食を通じて福祉の町づくりをすすめます。相生を食文化の高い町に育てます。町づくりを通じて商店街の活性化、再生に貢献します。このため次の事業をおこないます。

- ① 高齢者(65歳以上で介護を必要としない人)の方々のデイサービス
 - 昼食を中心、お昼のついで遊びなど、あみだで楽しんでもらいます。
 - 申請不要です。
- ② 主に相生市産の野菜や魚を使ったメニューの給食サービス(食堂)
 - 高齢者の地域で健康に配慮します。
 - 申し込み不要です。
- ③ 高齢者を中心とした給食(給食)
 - 利用しづらい/ワシンのとれた弁当を配達します。
 - 申請不要です。
- ④ 併設した売店では、地元でとれた野菜や惣菜を販売します。

お悩みを解決しませんか!!
よりあいクラブ旭を募集しています。
 本町商店街では、ご協力いただける方をお待ちしております。

- ① 食堂(弁当)の調理を手伝っていただける方
- ② お弁当を、高齢者の方々の自宅に配達していただける方
- ③ 野菜などの販売を手伝っていただける方

ご希望を募集されている方で、「よりあいクラブ旭」の扉面に伺いたい方は、写真を送っていただくことができます。●お申し込みは、お電話までご連絡ください。

よりあいクラブ旭
 相生市本町 相生町176番地 TEL:090-7554-1421 (山本)
 本館/相生市相生町相生NPOひょうご農業クラブ 相生市相生町相生176番地 TEL:FAK.0781-29-0539 理事長: 堀田大樹

「よりあいクラブ旭」オープン時のチラシ

につながることを実証することが、本質的な目標である。

【教 訓】

- (1) 良い関係を持ちうる協力者を見つけること、地域の人材に活躍の場を作ることが成功につながる。
- (2) スタッフ20人の9割が60歳以上、8割が有償ボランティア、こんな働き方がつくれることをしっかり認識する。
- (3) 困っている人が多数居住している所に事業のチャンスがある。(高齢者の多い地域で福祉事業が成り立ったりしている。)
- (4) 地域のニーズを満たすことが出来れば、人は集まってくる。儲けるためにやろうとするから間違いが起こる。人の喜ぶことをやってその結果事業として成り立ち、儲けさせてもらうという商売の基本に立ち戻るべきである。

【関 連 U R L】

NPOひょうご農業クラブ <http://www5d.biglobe.ne.jp/~yasaikai/>

本町商店街振興組合 <http://www.aioi.ne.jp/~honnmachi/>